

農山村振興・環境保全対策特別委員会記録

<p>1 会議の日時</p>	<p>令和 8年 3月 3日</p> <p>開 会 午前 9時 57分</p> <p>閉 会 午前10時 2分</p>	
<p>2 会議の場所</p>	<p>第3委員会室</p>	
<p>3 出席者</p>	<p>委 員</p>	<p>委員長 村下 貴夫 副委員長 田中 勝士</p> <p>委 員 渡辺 嘉山 伊藤 秀光 布俣 正也</p> <p>伊藤 英生 恩田 佳幸 所 竜也</p> <p>小川 祐輝 森 益基</p>
	<p>オブザーバー</p>	<p>無し</p>
	<p>傍聴議員</p>	<p>無し</p>
	<p>執行部</p>	<p>別紙配席図のとおり</p>
<p>4 事務局職員</p>	<p>主査 杉山 俊之 課長補佐 佐藤 由子</p>	

5 会議に付した案件		
件	名	審 査 の 結 果
1	令和7年度中間報告について	原案のとおり決定
2	その他	

6 議事録（要点筆記）

○村下貴夫委員長

ただいまから、農山村振興・環境保全対策特別委員会を開催する。

本日の委員会は、当委員会の令和7年度中間報告について協議するため開催したものである。

文案は、あらかじめ準備し、配付しているとおりである。

この中間報告案について、意見等はあるか。

（意見等なし）

意見もないようなので、案のとおり中間報告を決定したいと思うが、これに異議はないか。

（「異議なし」の声）

異議もないようなので、そのように決定した。

本日の議題は以上だが、この際、何か意見はあるか。

（意見等なし）

また、執行部から何かあるか。

○堀農政部長

県の来年度予算について、当委員会関係では、未来に夢と誇りを持てるワクワクの創出のうち、食やエネルギーの自給を通じて力強い地域を創ると世界に誇れる魅力あるまちづくりという政策の柱に重点を置いて取組を進める。アグリパーク構想の政策オリンピックでは、提案のあった39件のうち、15件は中山間地モデル。今後、外部有識者による審査を経て、多くの地域で取り組んでいただけるようにしっかりと支援してまいりたい。

また、アウトドアを活用した滞在型観光の推進として、アウトドア資源を活用した誘客プロモーションや、森林サービス産業の環境整備の支援にもしっかりと取り組んでまいりたい。最後に、ニホンザル対策の政策オリンピックについて、本日午後から活動報告会を開催する。事業期間は3年としているが、より効果的な政策につながるよう、初年度の課題や成果を、外部有識者とともに検証する。

○村下貴夫委員長

今の説明に対し、何か意見はあるか。

○布俣正也委員

成果発表会ではなく、最初から中間報告でよかったのではないかと思います。

○村下貴夫委員長

意見も尽きたようなので、本日の次第を終了する。

なお、この特別委員会は、来年度末を目途に委員会として一定の提言を行うことを目指すものである。

そのため、特段の事情がない限り、来年度もこのメンバーで当委員会を開催するので、引き続きお願いする。

それでは、これをもって、本日の委員会を閉会する。

農山村振興・環境保全対策特別委員会 配席図

令和8年3月3日

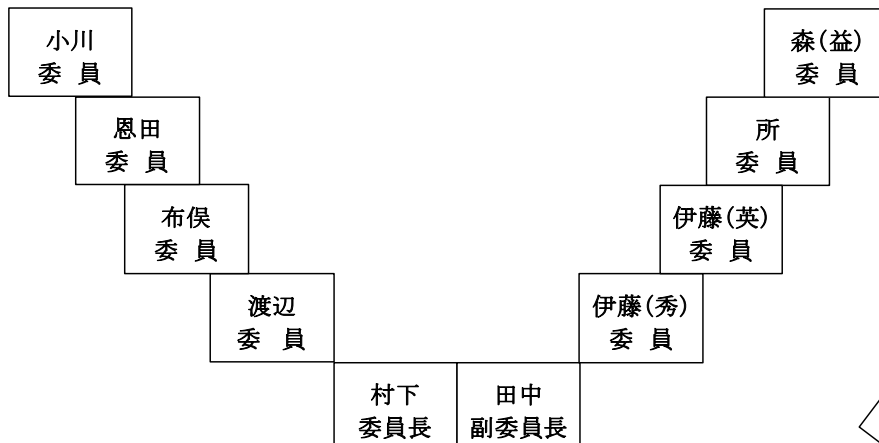
第3委員会室

出入口

傍聴席・記者席

桑田 里川・水産振興 企画監			
楠田 農村振興課 鳥獣害対策室長	石田 家畜防疫対策課 野生いのしし対策 室長	桑畑 畜産振興課 飛騨牛銘柄推進 室長	中原 畜産振興課 食肉流通対策室長
工藤 農産園芸課 花き・農業環境 対策監	稲川 農政課 スマート農業推進 室長	和田 農地整備課長	近澤 農村振興課長
浅井 家畜防疫対策課長	大下 畜産振興課長	若山 農政部次長	堀 農政部長

中村 森林経営課 林業改革室長	河本 森林活用推進課 森林吸収源対策 室長	江崎 環境生活政策課 生物多様性企画監	松尾 省エネ・再エネ 社会推進課 エネルギー企画監
伊藤 里川・水産振興 課長	大島 森林保全課長	石田 森林経営課長	安江 省エネ・再エネ 社会推進課長
古田 農政部次長	佐藤 農政課長	山岸 森林活用推進課長	大川 環境生活政策課長



議会事務局

出入口